

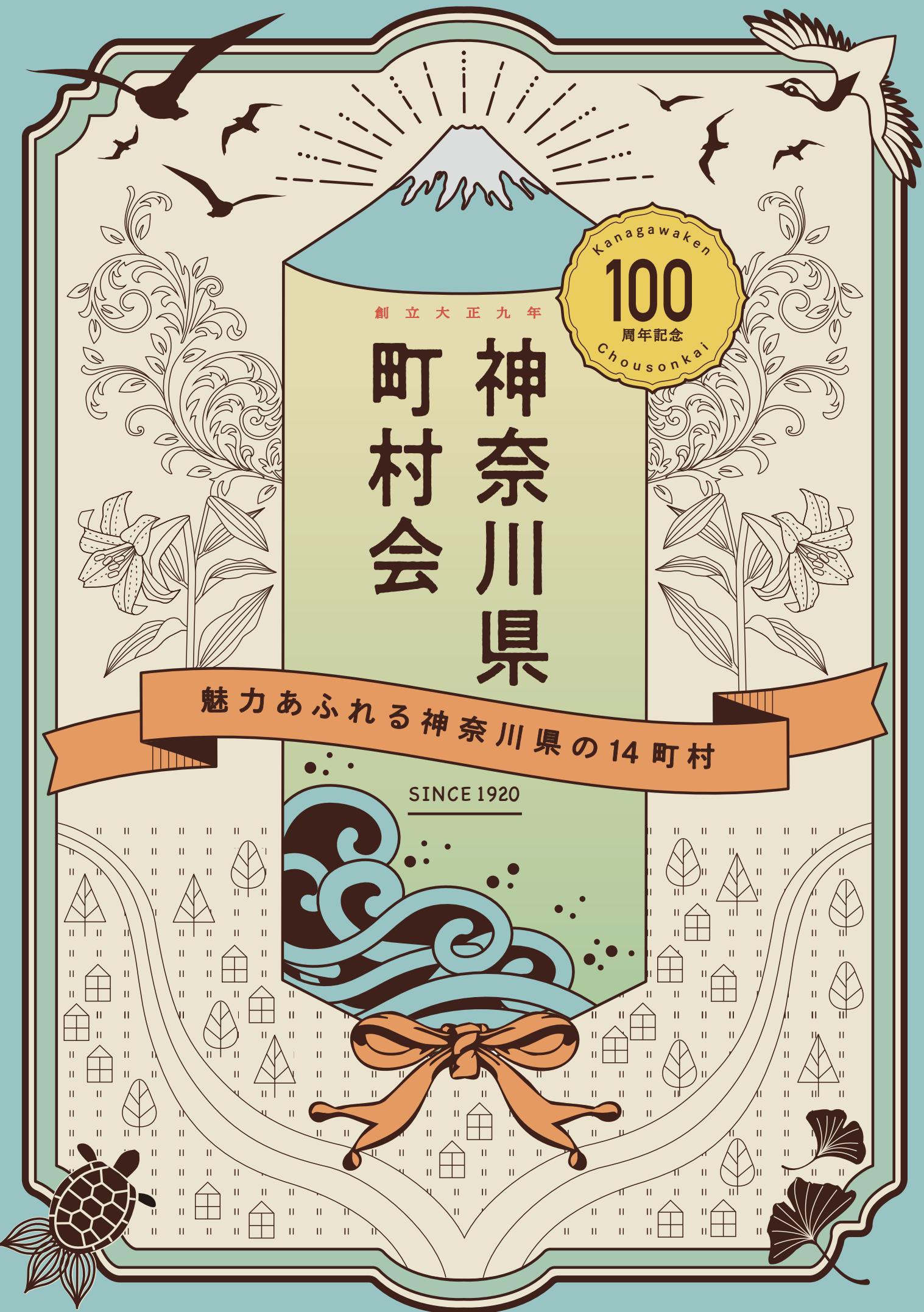
創立 大正九年

町村会 神奈川県

100
周年記念

魅力あふれる神奈川県の14町村

SINCE 1920







会長ごあいさつ



神奈川県町村会 会長
富田 幸宏 (湯河原町長)

神奈川県町村会は、大正9年9月24日に創立され、このたび100周年を迎えました。

日頃より、本会の運営にご支援ご協力を賜っております関係各位の皆様に、心より感謝申し上げます。

本会は、過去、50周年記念誌、60周年記念誌、及び70周年記念誌を発刊いたしました。この100周年の節目に、創立当初、23町175村でありました神奈川県内の町村は、現在、13町1村になりましたが、あらためて14町村の魅力を多くの方に知っていただくことを目的に、本記念誌を発刊することといたしました。

ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、神奈川県内14町村の魅力に少し触れたいと思います。それぞれの町村とも恵まれた自然環境、地域の食材を活かした食べ物、伝統行事など魅力は色々とございますが、何と言いましても「誰もが住みたいと思う地域づくり」に各町村が協力し、力を合わせて取り組んでいることが最大の魅力ではないかと思います。

この神奈川県町村会の100年に渡る活動がそれを物語っているのではないかと思います。

各町村の魅力について詳しくは、それぞれの町村が「わが町、わが村」の魅力をコンパクトにご紹介していますので、是非そちらのページをご覧いただきたいと思います。

結びに、本誌の発刊に際しまして、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

目次

会長ごあいさつ	2
目次	3
祝辞	4
かながわ100年今昔	6
葉山町	
寒川町	
大磯町	
二宮町	
中井町	
大井町	
山北町	
松田町	
開成町	
箱根町	
真鶴町	
湯河原町	
愛川町	
清川村	
14町村写真館	
14町村おいしいもの	
神奈川県町村会とは	
14町村合併経過	
歴代会長名簿	



神奈川県町村議会議長会 会長
伊東 圭介 (葉山町議会議長)



神奈川県議会議長
嶋村 ただし



神奈川県知事
黒岩 祐治

発刊を祝して

神奈川県町村会が創立100周年を迎えられ、記念誌を発刊されることに対し、心よりお祝い申し上げます。

神奈川県町村会は、大正9年9月に設立されて以来、神奈川県内町村の相互連携のもと、地方自治の振興発展に多大なる貢献をされて参りました。

今までの歩みは、町村長をはじめとする関係各位の一方ならぬご尽力のもとで積み重ねられたものであり、その功績に深く敬意を表します。

町村を取り巻く情勢は時代とともに大きく変化しております。多様化するニーズを反映した、安心安全で魅力あるまちづくりには、住民に寄り添った柔軟な取組みが必要であり、貴会による長年の経験と英知を生かしたお力添えなくしては成しません。

町村行政の一翼を担う議会といたしましても、今後とも貴会との連携を強固にし、より一層、町村の発展と住民福祉の向上を目指し、共に尽力して参りたいと存じます。

神奈川県町村会が100周年を契機に、ますます発展されることを祈念し、また、関係各位のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉

神奈川県町村会が創立100周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会は、大正9年に「神奈川県町村長会」として創立以来、戦後の町村合併を経ながら、これまで、県内町村の発展に尽くされてまいりました。

今日の発展は、歴代の会長をはじめとした、関係各位のご尽力、ご苦労の賜物であり、深く敬意を表します。

県内町村を取り巻く環境は、少子高齢化、経済構造の変化やICTの取組み等、社会情勢が著しく変化するとともに、地方分権のさらなる推進や、住民が安全安心に暮らせるための災害対策など、多くの行政課題に直面しており、適切かつ効率的に対応していくことが求められています。

県議会としましても、県内町村において多様化する課題とその解決に向け、活発で充実した議論を通じて、力を尽くしてまいりたいと存じます。

結びに、貴会が、創立100周年を機に、ますます発展されることを心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

神奈川県町村会創立100周年をお祝いして

神奈川県町村会が創立100周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

神奈川県町村会が設立された大正9年から1世紀にわたり、町村の行財政運営の支援に取り組まれ、今日まで町村の発展と住民の福祉向上、地域振興に御尽力された皆様方に心から敬意を表します。

新しい令和の時代を迎え、人口減少・超高齢社会の到来という大きな変化の中で、一人ひとりのいのちが輝く持続可能な地域社会を実現することが重要です。

人生100歳時代において、誰もが高齢になっても笑って生き生きと活躍できる環境を整える上では、住民との距離が近い町村だからこそ可能なことが多く、引き続き町村ごとの個性あふれる取組みを大いに期待しております。

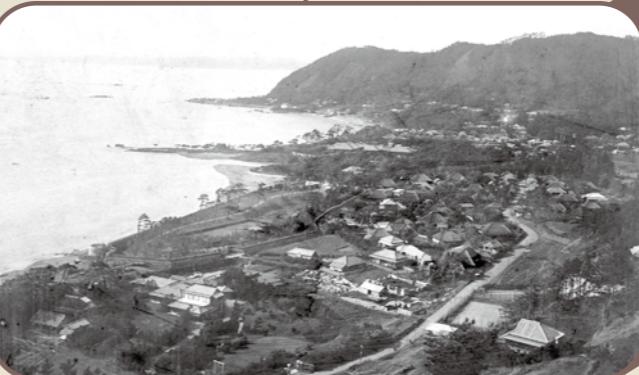
神奈川県町村会の皆様には、今後とも町村連帶の核として御尽力いただきますとともに、県政の発展にもお力添えくださいますようお願い申し上げ、お祝いのことばといたします。

かながわ100年 今昔



昔と今の景色を
写真で比べてみましょう

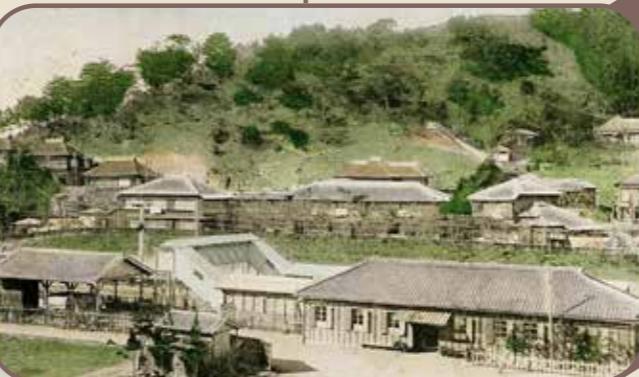
葉山町 御用邸周辺



寒川町 寒川駅



大磯町 大磯駅

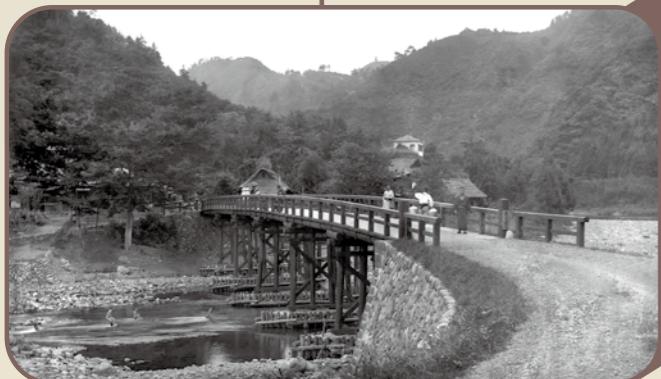


湯河原町 湯河原駅



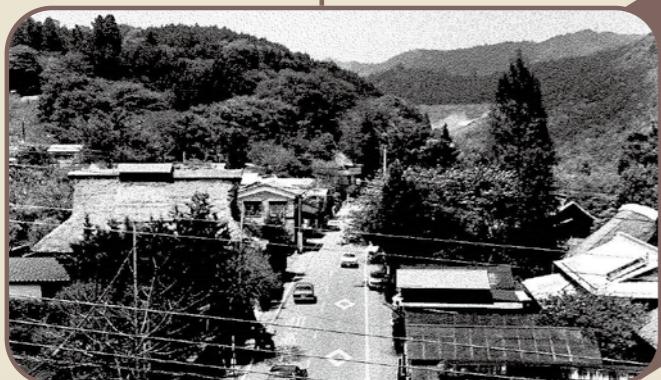
▲現在の湯河原駅
◀湯河原駅(大正12年)

愛川町 馬渡橋



▲2018年に掛け替えられた、現在の馬渡橋
◀明治43年7月撮影の木造の馬渡橋

清川村 宮ヶ瀬



▲現在の宮ヶ瀬湖
◀宮ヶ瀬ダム建設以前の宮ヶ瀬地区

山北町 役場



▲現在の山北町役場
◀昭和14年頃の山北町役場

開成町 吉田島地区



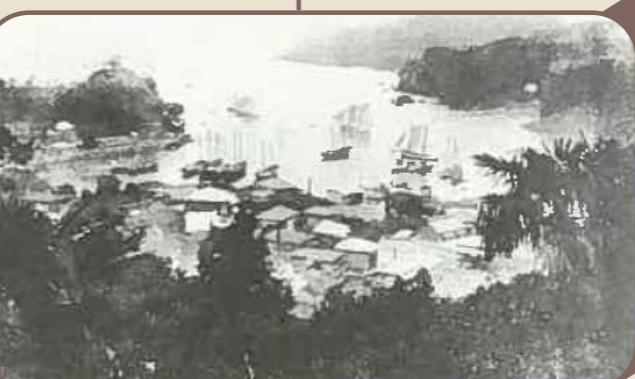
▲小田急線開成駅付近
◀県立吉田島農林高校付近

箱根町 箱根湯本駅



▲現在の箱根湯本駅
◀大正8年頃の箱根湯本停車場

真鶴町 真鶴港



▲港町・真鶴は、今も変わらず漁師町として出漁が行われている
◀大正11年の出漁風景。この時期この地方で初めて海女が稼働した



葉山町



若い女性を中心に人が集まり、SNSを通じて葉山の魅力を拡散

移住定住促進の取組みとして平成27年に立ち上げた町公式のインスタグラム「hayama_official」では、町が推奨するハッシュタグ「葉山歩き」を使った一般投稿が8万件以上行われています。これによって、町内外の皆さんによる町の魅力発掘と魅力発信に繋がっています。

また、民間企業とのコラボ企画を実施するなど、若者をターゲットにPRを行うことで、土日は人があふれる「憧れの町」として定着しています。

SNSで憧れの町に

世界にHAYAMAを発信



葉山沖はクレージングに最適



英国選手との地域交流も実施

り上がりています。また、オリンピックのセーリング競技で世界最多の金メダルを獲得している英国セーリングチームとホストタウン協定を結び、チームのサポートや地域交流も行っています。語学ボランティアの登録制度も開始し、世界に向けてHAYAMAのおもてなしを発信しています。

世界にHAYAMAを発信



有志の町民による改元を祝うコンサートを開催



NGOセイラーズフォーザーとの協定締結式には、名誉会長のロックフェラー・ジュニア氏が自ら参加



商工会青年部が50周年を記念した大規模イベントを企画

風光明媚で温暖な葉山は保養地として栄えました。皇室の侍医を務めたドイツ人医師のベルツ博士が、皇室ご二家の転地療養先の一つとして葉山を強く推奨したこともあり、明治27年には御用邸が建設され、別荘地として全国に認知されました。町民の「御用邸の町」としての想いも強く、天皇陛下ご退位と皇太子殿下ご即位にあたっては、有志の皆さんによる祝賀行事も行われました。

御用邸の町

自然環境先端都市へ

住む人が町を楽しむ



美しい山と海に恵まれ、棚田などの原風景は「ほんの里100選」(朝日新聞)、海越しの富士山を望める地勢は「世界のベストビーチ100」(2013年・米CNN)に選ばれています。この豊かな自然を将来に残すため、海洋環境保護活動を行なう世界的なNGOと協定を結んだり、公共施設でペットボトル販売を廃止したり、プラスチックごみを無くす先進的な取り組みを進めています。

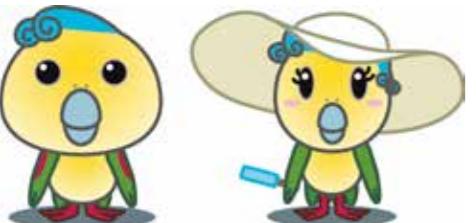
INFORMATION
所在地 〒240-0192
葉山町堀内2135番地
電話番号 046(876)1111
URL <https://www.town.hayama.lg.jp/>
面積 17.04km²
人口 31,532人

大磯町



日本最大のアオバトの飛来地

日本で最大級のアオバトの飛来地である照ヶ崎海岸の岩場には、5月初旬から10月頃までアオバトが群れで海水を飲みにやってきます。



いそべ・あおみ

毎年5月5日に開催される、100年以上の伝統を持つ相模国一大祭です。はじめは天下泰平と五穀豊穣を神々に祈願したものといわれており、虎の皮を「神様の座」と見立てた座問答のやりとりの珍しさは必見。県の無形民俗文化財に指定されています。

國府祭



大磯まちあるき



県天然記念物の高麗山(こまやま)



毎月第3日曜日に大磯港で開催される大磯市(おおいそいち)



県立大磯城山公園のもみじのライトアップ(11月)

紺碧の海に緑の映える 住みよい大磯

小さな岩礁に恵まれている照ヶ崎海岸では、潮の満ち干きにより岩礁にあがり、大磯の海の生き物を探したりするなどしてお楽しみいただけます。



鳴立庵

西行法師の歌で名高い「鳴立沢」に建つ俳諧道場で京都の落柿舎、滋賀の無名庵とともに、日本三大俳諧道場の一つです。鳴立沢の標石の裏に「蓋湘南清絶地」と刻まれているのが、湘南という言葉の始まりといわれています。

歴史・文化が積み重なった穏やかな町並み

旧吉田茂邸

県立大磯城山公園内にある戦後の大磯総理大臣を務めた吉田茂が暮らしていた邸宅を本邸といい、昭和20年より大磯の邸宅を本邸といい、昭和20年をこの地で過ごしました。吉田茂が愛したバラ園や、日本庭園などもあり、見どころ満載です。

鳴立庵

西行法師の歌で名高い「鳴立沢」に建つ俳諧道場で京都の落柿舎、滋賀の無名庵とともに、日本三大俳諧道場の一つです。鳴立沢の標石の裏に「蓋湘南清絶地」と刻まれているのが、湘南という言葉の始まりといわれています。



旧伊藤博文邸



旧大隈重信邸



旧陸奥宗光邸

明治記念大磯邸園

現在、国や神奈川県と連携し、「明治150年」関連施策の一環として、明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のため、旧伊藤博文邸(滄浪閣)等を中心とする建物群及び緑地について、明治記念大磯邸園として整備する事業を進めています。

江戸時代の大磯町は東海道の宿場町として栄えました。富士山、三浦半島が望めるなど自然景観に優れ、行楽の地としての魅力をもつ大磯は、明治時代になると、医師であり政治家でもあった松本順(初代陸軍軍医総監)が海水浴の効能を広め、明治18年に、

日本で初めての療養を目的とした海水浴場を開設したことで人気を博しました。さらに、明治20年には東海道線の大磯駅が開業したことで、別荘地として急速に発展しました。

明治政界の要人が集うやがて大磯には、明治期に初代内閣総理大臣として活躍した伊

藤博文をはじめ、山縣有朋、大隈重信、西園寺公望、寺内正毅、原敬、加藤高明、吉田茂の8人の総理経験者ほか、陸奥宗光や林董、後藤象二郎などの政治家も大磯に邸宅を構えたことから「明治政界の奥座敷」と呼ばれました。また、三井・三菱・安田・古河などの財閥や尾上菊五郎、中村吉右衛門、片岡仁左衛門といった歌舞伎俳優など文化人も次々に邸宅を所有していました。



町の花



町の鳥



町の木

「明治政界の奥座敷」大磯

大磯町は、南は相模湾に面し、北は高麗山をはじめとする大磯丘陵に囲まれた自然が豊かな町です。伊藤博文や吉田茂など8人の歴代総理大臣や政財界の要人が明治中期から昭和初期にかけて別荘を構えた土地としても知られています。先人が育んできた伝統や文化が大切に受け継がれ、歴史的・文化的にも大きな魅力を持つ町として発展し続けています。

INFORMATION

所在地 〒255-8555
大磯町東小磯183番地
電話番号 0463(61)4100
URL <http://www.town.oiso.kanagawa.jp/>
面積 17.23km²
人口 31,131人



プライベートビーチ?



絶景のビュースポット

二宮駅からすぐの吾妻山公園は、標高がわずか136mのため、気軽にハイキングを楽しめる憩いのスポットです。

相模湾や富士山など、展望台からのパノラマは、ぜひ一度ご覧になっていただきたい絶景で、公園内には、102mのローラー滑り台や大型複合遊具などもあり、お子さんのいるご家庭にも大人気です。

1月から2月の菜の花をはじめ、桜やコスモスなど、四季を通して色を変えるところも吾妻山の魅力となっています。

二宮駅からすぐの吾妻山公園は、標高がわずか136mのため、気軽にハイキングを楽しめる憩いのスポットです。

相模湾や富士山など、展望台からのパノラマは、ぜひ一度ご覧になっていただきたい絶景で、公園内には、102mのローラー滑り台や大型複合遊具などもあり、お子さんのいるご家庭にも大人気です。

1月から2月の菜の花をはじめ、桜やコスモスなど、四季を通して色を変えるところも吾妻山の魅力となっています。

二宮町ガイドブック

二宮町は、観光ガイドを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。

もっと二宮を知って遊びにきてください



観光ガイドマップ

www.town.ninomiya.kanagawa.jp/i/soshiki/toshi/sangyoshinko/shokokan/s01/1441761651263.html



移住パンフレット

www.town.ninomiya.kanagawa.jp/i/ninomiya_life/shirai/1491263413476.html

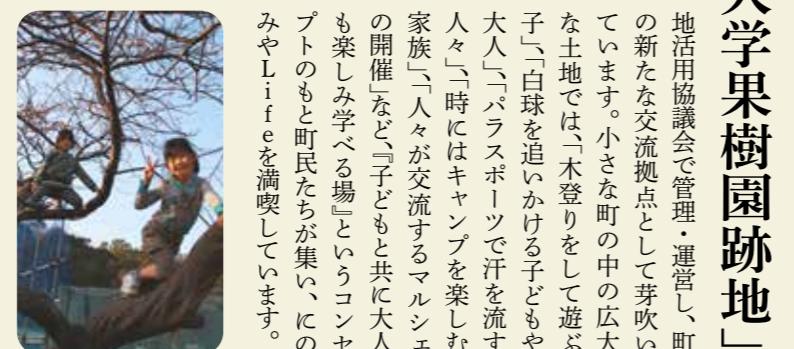


ブランド&グルメマップ

ninomiya-shoko.com/brand/二宮ブランド/




町民が集う新しい交流拠点「東京大学果樹園跡地」



1926年から2008年までにわたり、東京大学農学部の果樹園だった同地は、町のおよそ中心に位置し、現在は、町民・地域・事業者による東京大学果樹園跡

地活用協議会で管理・運営し、町の新たな交流拠点として芽吹いています。小さな町の中の広大な土地では「木登りをして遊ぶ」「白球を追いかける子どもや大人」「パラスポーツで汗を流す人々」「時にはキャンプを楽しむ家族」「人々が交流するマルシェ」など、子どもと共に大人も楽しみ学べる場」というコンセプトのもと町民たちが集い、にのみやLifeを満喫しています。



「ラディアン花の丘公園」では、たくさんの子供たちが楽しそうに遊んでいます



生涯学習センター「ラディアン」は、コンサートができるホールや、蔵書22万冊の図書館、多目的に使える「ミーティングルームなどを備えた複合施設です。

ラディアン花の丘公園は、子どもたちに大人気の「ふわふわドーム」をはじめ、お子さんが走り回れる

広い広場や複合遊具など楽しい設備が充実しています。9月には彼岸花、秋には紅葉も楽しむことができます。また、散策路は、自然に囲まれた小道となっており、途中富士山を眺める展望台もあります。



二宮町

町の花
カンナ町の鳥
ヤマガラ町の木
つばき

東京から約70km、県南西部の湘南エリアに位置した約3km四方の小さな町は、東海道本線をはじめ、国道1号線、小田原厚木道路や西湘バイパスが東西を走り、また、南北を走る県道秦野二宮線により、東名高速道路の秦野中井ICも近く、アクセス性に優れていることから、都心や横浜などに通勤する方のベッドタウンとして発展してきました。

INFORMATION

所在地 〒259-0196
二宮町二宮961番地
電話番号 0463(71)3311
URL <http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/>
面積 9.08km²
人口 27,551人

きみのふるさとなりたい



自然豊かな二宮町には、のんびり、ゆったり、毎日楽しく過ごせる魅力がいっぱい!
町の定番スポットなどを、「ニーノ」と「ミーヤ」が町の魅力をお伝えします。

ここは、ホールや多目的ルームと図書館が併設している「ラディアン」です

一人ひとりが主役! 魅力育む 里都まち♡なかい

「里都まち」
中井町の特徴を表した造語
*平成28年度商標登録

「♡」
町民の温かさ、熱意、情熱を示すと同時に、シビックプライドや愛郷心の喚起、町も変わる、町民とともに協働のまちづくりを進めていく変革の覚悟(熱いハート)が込められています。

なかいの逸品、太鼓判!
「里都まち♡なかいブランド
「なかいの逸品、太鼓判!」



地元生姜をふんだんに使ったビア

里都まち♡なかいブランド認証制度は、中井町の資源等を活用した事業の拡大のため、中井町の一次産品や、中井町の資源等を活かして製造された加工品、飲食メニュー、工芸品といった商品のうち、ブランドコンセプトにあった優れたものを、町が推奨するブランド品として認証するものです。

認証審査会を経て、現在12品がブランド認証されています。中井中央公園内「なかい里都まち♡CAFÉ」で販売するほか、飲食メニューとしてその場でお召し上がりいただけるものもあります。

創業明治10年かねこ製麵渾身の一作!「ぼんぼん麵」。中井町産小麦を自家製粉し厳選国産小麦とブレンド。麵屋こだわりの中細麵と、クリーミーでコクがあるのにさっぱりしている無添加スープの相性は抜群です。



直売野菜との組合せで美味しい



中井中央公園は町のほぼ中央に位置する公園で、野球場・星槎（ぼんぼん）は各種スポーツやイベントに対応でき、パークゴルフ場は連日大賑わいの人気スポーツとなっています。また、全長101mのロード



釜でピザが焼けるレンタルキッチンスペース



なかまる

中井町の「なか」とみんなが「まる」い輪になつてほしいという願いから「なかまる」と名付けられました。町の鳥「しらさぎ」を象った帽子をかぶつて、町の木「きんもくせい」と町の花「ききょう」の花をかざして、全身で中井町を表現しています。



農業に目覚め中井町にたどり着いた新規農業者



暮らしを支える新たな公共交通

次の世代へ残したい町

中井町は、小高い丘や小川、田畠など豊かな自然と小規模な集落で形成された「里」と自立した自治体を支える産業などが集積した「都」がほどよく調和した「里都まち」として共生しています。活力+快適+安心を高めることで町の魅力を育み、一人ひとりが連携協力することで、住む人、訪れる人に魅力あるオンラインの「里都まち♡なかい」を目指しています。

中井町



ききょう



しらさぎ



きんもくせい

中井中央公園

中井中央公園は町のほぼ中央に位置する公園で、野球場・星槎（ぼんぼん）は各種スポーツやイベントに対応でき、パークゴルフ場は連日大賑わいの人気スポーツとなっています。また、全長101mのロード

ラー滑り台をはじめとした各種遊具が設置された遊びの広場」と親水池が設置された「水辺の広場」があります。

2018年にオープンした「なかい里都まち♡CAFÉ」では、食事やお茶を楽しめるだけではなく、雑貨やお土産なども販売しています。

全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、中井町でも農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などが課題となっています。そんな中で、耕作放棄地を活用して中井町で農業を始めた「新規就農者」が近年増えています。中井町で就農するには、複数の条件がある他、農業をきちんと行えるだけでなく、地域に溶け込む必要があります。そのための審査などもありますが、中井町は資金面などできる限りの支援を行っています。

新規就農者

中井ふれあいバス（中井町オンラインバス）は、自宅近くや指定の場所から目的地まで乗合で運航しています。タクシーの便利さと路線バスの手軽さの両方をあわせ持つ乗り物で、予約をして乗車するタイプの公共交通です。現在、120か所の乗降ポイントがあります。

中井ふれあいバス

中井町は、車で15分もあれば町のどこへでも行けるコソバクトな町です。鉄道は走っていませんが、車での移動は非常に便利。町の北部には東名高速道路秦野中井ICがあり、都心まで1時間ほどとアクセスは良好です。北に丹沢山地、西には富士山、南には相模湾を望め、四季が織りなす自然豊かな里山の魅力と、機能的で便利な都市的活動の場としての魅力をあわせ持つ、その「ちょうどいい」ちょっといいバランスが自慢です。

INFORMATION

所在地 〒259-0197
中井町比奈窪56番地
電話番号 0465(81)1111
URL <https://www.town.nakai.kanagawa.jp/>
面積 19.99km²
人口 9,304人



OH! いいまち

くらしやすいまち、おお！いーまち

大井町を象徴するものといえば、ひょうたん、すいせん、里山と田園風景、酒匂川と富士山。そして何よりもこの地に暮らす人々の温かく穏やかな笑顔。どこからでも富士山を眺めることができる恵まれた自然環境と、東名高速



西は箱根連山と富士山、南は相模湾、北東には丹沢山塊。年間を通じて暖かく、住み心地の良い人情味豊かなまち。都心からは約70kmで、東名高速道路大井松田ICは足柄平野の玄関口として機能しています。町の6割を占める丘陵地では畑作が行われ、平坦地では国道255号線沿いの商業圏と水田が広がり、稲作や果樹の栽培が行われています。

INFORMATION

所在地 〒258-8501
大井町金子1995番地
電話番号 0465(83)1311
URL <https://www.town.oi.kanagawa.jp/>
面積 14.38km²
人口 17,038人



シイノキ巨木巡りツアー



みかんの木まるごと一本総もぎ体验

自然を感じられるまち

町の東部、丘陵地である相模地域において、2019年に地域の方々を中心とした「神奈川大井の里体験観光協会」が設立されました。同協会はみかん狩りやみかんの加工体験、シイノキ巨木巡りツアー、炭づくりや竹を活用した体験などのプログラムを提供しています。今後も様々なプログラムを企画し、修学旅行の受け入れも目指しています。協会の指導者は全員救急蘇生法の資格を取得しており、安全な受け入れ態勢を整えています。

場である「おーい！元気会」、さらには有志による里山や棚田の保全活動など、地域の交流や活動も盛んです。

こうした様々な「くらしやすさ」を表現する、シティプロモーションのキヤツチコピーは「OH! いいまち」としました。



BIOTOPIA



ふるさと劇団のメンバー



笑顔特派員・スペリーマーキュリーさん

「笑顔」のおおいまち

丘陵地にオープンした「BIOTOPIA (ビオトピア)」は、食、運動、癒しをコンセプトに未病改善を実践できる施設です。地元特産品を扱うマルシェやレストラン、様々な

プログラムで楽しく未病の改善ができる体験型施設「me byo エクスプラザ」などがあります。また「笑い」によって心も体も健やかにするため、笑顔特派員・スペリーマーキュリーさんを中心とした「吉本新喜劇・ふるさと劇団」の開催や地域イベントへの参加など、様々な取り組みが行われています。



ひょうたん

駅員が西日除けに植えたことがきっかけで、上大井駅は「ひょうたん駅」として有名になりました。それ以来町のシンボルにもなっています。「大井町といえば?」という問いに「ひょうたん」と答える町民も多いです。

わが町グルメ



フェイジョア

南米原産で、バナナとパイナップルを合わせたような味と洋ナシのような食感の果物。以前から生産されていましたが、「大井スイーツセレクション」の開発にあたり活用され、脚光を浴びています。



大井よさこい ひょうたんまつり

町最大のイベントで、キッズダンス大会と、地域の特色や歴史・風土を反映させたよさこいのコンテストを2本柱とし、町内外から多くの踊り手が参加し熱気あふれる演舞が披露されます。

わが町のイベント



松田町



松田町内の西平畠公園は、園内から眺める富士山が関東の「富士見百景」にも選定されていて、絶景スポットとして有名です。足柄平野、相模湾、天気の良い日には小田原城の天守閣、遠く地平線上に利島を見渡すことが出来ます。また、春に先駆けて咲く河津桜や菜の花が有名で、毎年、まだ桜まつりには国内外から多くの観光客が訪れます。見晴らしの

笑顔あふれる
幸せのまち



寄地域のまつりや寄七つ星ドッグラン

山々に囲まれ自然豊かな寄地域には、楽しいまつりや、広々とした芝生で愛犬で思いきり走り回ることができます。「寄七つ星ドッグラン」があります。寄ロウバイ園には、約2万本のロウバイが植えられています。1月上旬、黄色い花が咲きだすと、あたりには甘い香りが漂います。そして、この日開催される若葉まつりは、都市と農村の交流と新緑を祝うお祭りです。清流「中津川」の上空には鯉のぼりがたなびき、子供たちの歓声がこだまします。



まつだ観光まつり、大名行列

まつだ観光まつりは見所満載のお祭りです。中でも「大名行列」は小田原11万3千石の格式を再現した豪華絢爛な歴史絵巻とし

て広く知られています。大名行列を中心として町内を練り歩くパレードには子どもや神輿が続きます。夕暮れ時には、松田山の頂に「百八ツ火」の松明が灯ります。そ



の昔、松田城落城の時、農民たちが落武者たちを導くためにいたり、送り火ともいわれています。

わが町グルメ



みかん

山の南斜面を利用した富士山を眺望できるみかん畑が松田山に広がっています。自分の名前のついた木に実るみかんを収穫して楽しむことができる「みかんオーナー制」では、木を1本から契約できます。ぜひご利用ください。



日本酒「松美酉」

老舗の酒造(中沢酒造)で熟練の技術により造られる日本酒は、松田町の自然の恵み、蔵人の技、丹沢水系の伏流水へのこだわりが結集された逸品です。



さくら鱈の燻製

町内寄地区を流れる清流「中津川」で育てられたさくら鱈を桜子ップで燻したオリジナルの燻製は、芳香さとちょうどよい塩味がお酒のつまみにもぴったりです。



松田きらきらフェエスタ

空気が冴えわたった初冬の夜。松田山がイルミネーションに彩られ、松田きらきらフェエスタがスタートします。斜面に建つハーブ館をはじめとして、約18万球のイルミネーションが暗闇に美しく浮かび上がり幻想的な風景となります。足柄平野の夜景とも見事に溶け合い、ダイナミックな景色を楽しめます。会場の西平畠公園は、桜まつり、ハーブフェエストなど1年をとおして多くの観光客で賑わいます。

松田町では、これらの自然と共に生しながら、地域社会と連携をして安全・安心な環境を育み、生活サービスの維持と文化の継承など魅力あるまちづくりを目指しています。

松田町は、神奈川県の西部に位置し、東京から約70kmで、東名高速道路(大井松田IC)や小田急電鉄(新松田駅)、JR御殿場線(松田駅)があり、国・県道からアクセスにも優れ、総面積37.75km²のうち、その多くを山間部が占める自然豊かな町です。松田町は首都圏から一番近い自然郷。都会の喧騒で渴いた心を潤す場として親しまれています。

INFORMATION

所在地 〒258-8585
松田町松田惣領2037番地
電話番号 0465(83)1221
URL <https://town.matsuda.kanagawa.jp/>
面積 37.75km²
人口 10,722人

山北町

わが町のイベント

3月

やまとた桜まつり
山北駅周辺の桜が咲くころに開催され、夜には桜がライトアップされます。

8月

丹沢湖花火大会
湖面に映える花火が観客を魅了します。

11月

西丹沢もみじ祭り
大鍋を使ったしし鍋を紅葉とともに楽しむことができます。

11月

丹沢湖ハーフマラソン大会
丹沢湖周辺をたくさんのランナーが駆け抜けます。



子育て世代に優しい町の取組み

山北町では、中学3年生までの子どもの保険・診療費を町が全額支援するほか、紙おむつや出産祝い金の支給、町外の方からも人気を集めます。若者や中堅世帯の定住促進のため駅の近くへの町営住宅の建設や新築祝い金を付するなど、住まいづくりを支援する定住促進の取組みにも力を入れています。



子どもの成長に合わせて部屋の間取りを変えることができます。

山北で体験できること

山、川、湖と三拍子揃った山北町では、シーズンごとに様々なアウトドアを楽しむことができます。町内には数多くのハイキングコースがあり、たくさんのハイカーが訪れます。丹沢湖ではボートやカヌー、サップ、フィッシングなどに

トライしたり、周辺をサイクリングすることもできます。また、キャンプ場も数多くあり、夏になると多くの親子連れでにぎわい、バーベキューや魚のつかみ取りを楽しめます。



緑と水に包まれたまち

丹沢湖から富士山を望む



県指定史跡「河村城跡」
自然地形を利用した中世の山城で、戦国時代には小田原北条氏の出城でした。



国指定重要無形民俗文化財「山北のお峯入り」
修驗道の儀礼が時代を経て芸能化され、演技者が11演目、8種の歌や踊りを行います。



国指定天然記念物「大スギ」
県下の巨樹として有数のもので、推定樹齢2000年とされています。

水源の里、山北
雄大な山々と深い森から流れ出る豊かな水資源は、まちが誇る大切な財産です。その森林から流れる水は水道水として町内だけでなく、県全域をうるおしています。

山北町は水源のまちとして下流域との交流を行ったり、その

れ出る水は水道水として町内だけでなく、県全域をうるおしています。



町域の約90%は丹沢大山国定公園や県立自然公園などを含む森林原野で占められ、四季折々に表情を変える西丹沢のやまなみや酒匂川などの清流に囲まれた、自然豊かな町です。町内には「名水」「森林浴の森」「日本の滝」「名木」「ダム湖」の全国百選に認定されたスポットや中川温泉などを有するとともに、人と自然、人と人、人とまちがつながるイベントも開催され、多くの観光客に訪れていただいています。

INFORMATION

所在地 〒258-0195
山北町山北1301番地4
電話番号 0465(75)1122
URL <http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/>
面積 224.61km²
人口 9,590人

長い歴史

山北町では、古代より人びとが生活していた形跡を確認することができます。その歴史は約6千年前の縄文時代までさかのぼります。町内にはまちの長い歴史をうかがえる文化財が多く存在し、現在、国指定2件、県指定12件、町指定17件の計31件の指定文化財があります。

開成町

町の花
あじさい

町の木
しいがし

カタツムリになる一日
東京ドーム36個分の大きな水田地帯の中、あじさいが5000株。田植えをしたばかりの緑に染まった田んぼと、虹色に咲き誇るあじさいに見とれながら、ゆっくりと散策してください。

6月 あじさいまつり



3月 ひなまつり



江戸時代におじやまします
築300年の古民家「瀬戸屋敷」で、地元の蔵から発見された300年前の「享保雛」や瀬戸屋敷収蔵の人形の数々、地元婦人会手づくりの「つるし雛」7000個が展示されます。

開成町



8月 納涼まつり

夏のおもいで、総まとめ
風が吹き抜ける気持ちのいい川辺で、食べたり飲んだり、音楽を聞いたり、芝生に寝転んだり。フィナーレはほぼ真上に打ちあがる迫力の花火をお楽しみください。



9月 阿波おどり

おどる、つながる、もりあがる
自治会ごとに結成した町内連に、町外連等が加わり、約1000人の踊り手が役場周辺の道路を練り歩きます。東日本で一番小さな町が一年でいちばん熱くなる夜です。



田舎モダン

開成町
kaisei town

町制施行以来進められてきた計画的なまちづくりによって、人と自然が調和する住みよい町に成長してきました。水量豊富で清涼な用水路が縦横に走る良好な田園環境を残しつつ一方では、駅を中心に日々姿を変えながら都市としての成長を続けています。わずか6.55km²という小さなエリアの中でも、水と緑と人が見事に共存しているのが開成町です。

そこに住む人々も町の大きな魅力。住民の活動が活発で、子どもからお年寄りまでみんなが元気です。誰でも力。住民の活動が活発で、子どもからお年寄りまでみんなが元気です。誰でも

あじさいちゃん
開成町の花であるあじさいをモチーフにした、町の公式マスコットキャラクター。6月4日生まれ。

も受け入れる風土があるから、住みつくる人も増えています。自然も人も、どこか懐かしい風景を残しながら、新しい価値を大切にする。「田舎モダン」というキヤツチコピーには、開成町と開成町民の気質が凝縮されています。



開成水辺スポーツ公園

酒匂川のほとりにある総合スポーツ公園。関東で最初に設けられたパークゴルフ場をはじめ、サッカー、野球、ソフトボールなど多目的に利用できます。



あしがり郷瀬戸屋敷

この地域の名主を代々務めてきた瀬戸家の屋敷。約1800坪の屋敷内には茅葺の大きな主屋・土蔵などがあり、ひなまつり、端午の節句、七夕など伝統的な年中行事を再現しています。

INFORMATION

所在地 〒258-8502
開成町延沢773番地
電話番号 0465(83)2331
URL <https://www.town.kaisei.kanagawa.jp/>
面積 6.55km²
人口 18,141人



箱根町



入賞作品「古代の地球の営みを想う」



箱根寄木細工
寄木細工は、江戸時代後半から盛んになり、色の違う木を組み合わせてさまざまな模様を作り、それを箱などの表面に張る装飾技術のひとつです。また、明治時代中ごろからは、色の違う木をはめ込みながら組み合わせて絵画模様を表現する木像嵌細工も盛んになりました。平成30年には国登録有形民俗文化財に登録され、毎年行われる東京箱根間往復大学駅伝競走の往路優勝校に町から寄木トロフィーを贈呈しています。



移住体験施設 cotoha
定住化対策及び空き家対策として、長年使っていなかった空き家を活用して、町内外の方、町職員などが一緒にリノベーションし、cotohaと名付けました。移住を検討している首都圏の方などを対象にトライアルステイ（お試し居住）として利用を開始していますが、今後は移住イベントのほか、地域の皆様等にもコミュニティの活動の場として提供していく予定です。



フォトコンテスト



入賞作品「輝く飛龍の滝」



入賞作品「金色に輝く」

やすらぎと
おもてなしの
あふれる町

国際観光地

昭和31年9月に湯本町、温泉村、宮城野村、仙石原村、箱根町の5か町村が合併し、現在の箱根町が誕生しました。箱根は東京都心と交通アクセスがよく、日本経済の高度成長を追い風に、観光開発が急速に進められてきました。多様な魅力を持つ国際観光地として発展するなか、自然の保護と開発との調和を常に大切に考え、箱根町資源保全基金（箱根トラスト）を設置するなど、積極的に自然の保全を図っています。

現在、年間2千万人のお客さまが国内外から訪れる、日本の代表的な国際観光地となりました。

たが、これまで発展できたのは先人たちの努力によるところであり、今後、わたしたちはこの箱根を次世代に引き継いでいく責務があります。



箱根町は神奈川県の南西部に位置し、その8割は山岳地帯からなっています。また、ほぼ全域が富士箱根伊豆国立公園内にあり、富士を映す明鏡芦ノ湖や美しい山など、豊かな自然に恵まれています。古来より東海道の要衝として、また温泉地・宿場町として栄え、国内外から多くのお客様にお越しいただいています。

わが町グルメ

町の魚 ワカサギ
ワカサギ
味よく大きさも手頃。地元の旅館、食堂の料理として観光客に人気。

大涌谷
多くのお客様で賑わいを見せる人気スポット。火山活動により雄大な景観が作り出され、豊富な温泉をもたらしています。



仙石原すき草原や飛龍の滝（畠宿）をはじめとする自然あふれる景勝地を多く有する町であり、四季折々の風景は国内外のお客さまを魅了しております。また、古くから東海道の要衝であった箱根関所は、平成19年に完全復元されました。令和元年には、現在の場所に設置されたと伝えられる元和5年（1619）年から数えて400年を迎え、観光スポットの一つとして賑わいを見せています。

INFORMATION

所在地 〒250-0398
箱根町湯本256番地
電話番号 0460(85)7111
URL <http://www.town.hakone.kanagawa.jp/>
面積 92.86km²
人口 10,953人

真鶴町

ただいまなづる



おためし暮らし施設くらしかる真鶴

どこか懐かしい
人々をあたたかく
包み込むまち

歩いて回れるほど小さな町は、
人と自然、人ととの距離が近
く、ゆるやかなコミュニティの中
でも暮らしています。

海や森、無数の生命が交差す
る町の佇まいは、初めて足を踏み
入れた人ですらどこか懐かしく
感じ、人々をあたたかく包み込み
ます。そんな「真鶴時間」に魅力
を感じた人は移住・定住を決め、
「真鶴ライフ」を楽しんでいます。



静かな背戸



幸せをつくる
真鶴時間

Find happiness in Manazuru



はまゆう



いそひよどり



くすのき

真鶴町には、都会では真似できない幸
な時間があります。美味しい魚、豊かな自
然、美しい海、懐かしい町並みなど、たく
さんの資源がある中でも、最も自慢できる
ものが「真鶴ライフ」です。「自然の恵み」、
「人々の営み」、「催し」この3つが交わったと
きに生まれる「真鶴ライフ」は、住んでいる
人はもちろん、観光や仕事で訪れる人にもも

な時間があります。美味しい魚、豊かな自
然、美しい海、懐かしい町並みなど、たく
さんの資源がある中でも、最も自慢できる
ものが「真鶴ライフ」です。「自然の恵み」、
「人々の営み」、「催し」この3つが交わったと
きに生まれる「真鶴ライフ」は、住んでいる
人はもちろん、観光や仕事で訪れる人にもも

幸せをもたらしてくれます。
人の温かみを感じることのできる「真鶴
ライフ」の中で、真鶴半島の自然や新鮮な
お魚を楽しんでいただくことこそが、全て
の人に自慢できる真鶴町の魅力です。真鶴
人がひとつになって、小さい町だからこそ
できるおもてなしを、皆で実践していく

真鶴町は、神奈川県西部に位
置し、面積は7.05km²、都心まで
約100kmの場所にあります。相
模湾に向かって突出した真鶴
半島の形状が、鶴が羽を広げ
た姿に見えることが町名の由来
です。町章も全体として鶴を表
現しながら、羽の部分で港を、
頭の部分で入り船をあらわして
います。年間を通じて気候が温
暖で、海と山と緑に恵まれた風
光明媚な町並みが特徴です。

INFORMATION

所在地 〒259-0202
真鶴町岩244番地の1
電話番号 0465(68)1131
URL <http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/>
面積 7.05km²
人口 6,756人



美の基準デザインコードブック



コミュニティ真鶴

真鶴町が「美のまち」と呼ば
れていることをご存じですか。
1987年リゾート法の施行によ
り、近隣市町村で投資目的の建築
が増えるなか、真鶴
町は昔から引き継
がれてきた懐かしい
港町の生活風景を
変えないことを選び
ました。

たものが「まちづくり条例」と「美
の基準デザインコードブック」で
す。作成から約30年経った今、そ
の価値が少しずつ芽吹き若い人
たちを中心共感を得るように
なっています。

わが町グルメ



生食岩ガキ

令和3年度から生食岩ガキの本格出荷を予定しています。首都圏に一番近い生食岩ガキの生産地として、真鶴町から全国へ。真鶴新ブランドとして、大きな期待が持てます。



ラブストーン

かつて真鶴町では「世界近代彫刻シンポジウム」として滞在制作型の彫刻祭が開催されました。その歴史的・文化遺産が東京五輪2020に合わせて復活し、「石の彫刻祭」として開催します。



磯の生物観察会



磯の仕掛け絵本づくり

真鶴町は、豊かな自然を活用したふ
さと教育を進めています。その代表的事業
が、磯の生物観察会です。海洋教育の専門
家とともに、子どもたちが実際に海で生物
観察を行います。近年では町立図書館での
「図書館まつり」とコラボレーションし、観
察会での経験を
仕掛け絵本として作成すること
も行っています。今後も子どもたちが
「ふるさと」真鶴を肌で感じ
ることでできる事業を展開して
いきます。

湯河原町

人を癒して、1200年
湯河原



さつきの郷



みかん狩り



湯河原温泉海上花火大会



藤木川と紅葉



湯河原梅林

四季彩のまちゆがわら

湯河原町の四季を彩る花々は、

湯河原の人々が大事に育んでき

た貴重な観光資源です。

「おだやかに始まる春」は、湯河

原梅林「梅の宴」。雄大な自然景

観に出会い岩肌が露出した幕

山の山麓斜面一帯に紅梅・白梅が

約4000本咲き誇ります。千歳

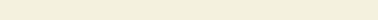
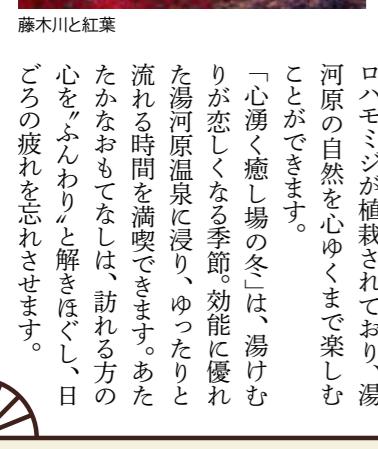
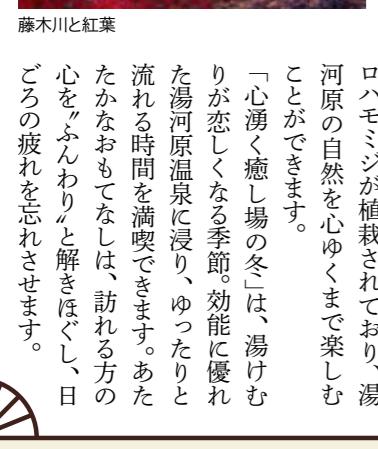
川の川沿いに広がる桜並木は、穩

やかな陽気に誘われて、散策した

くなる場所です。

「鮮やかに彩られる夏」は、高台

に位置し、真鶴半島を望む絶好の



清川村

水と
緑の
心の源流郷

宮ヶ瀬湖畔遊園地



青龍祭



宮ヶ瀬クリスマス みんなのつどい

普段は静かな宮ヶ瀬湖畔園地

全国に誇る伝統と文化

村では、四季折々の景観に合わせたイベントを数多く開催しています。中でも、8月の「青龍祭」は村の伝統行事として親しまれ、村民が一体となって参加します。和太鼓の豪壮な音色とともに燃え盛る龍の姿は圧巻です。

普段は静かな宮ヶ瀬湖畔園地



育児教室



タブレット端末の活用

村だからできる子育て

若い世代が安心して子を産み、育てることができる環境で、自然に囲まれたこの村で、のびのび、健やかに育つ環境をめざし、妊娠前から子育て期にわたり、切れ目がない支援を行っています。

カヌー教室



カヌー教室



丹沢堂平

一年を通して大自然と遊ぶ

神奈川県民の水がめとして、首都圏最大級となる約2億tもの水を湛える宮ヶ瀬湖を有し、全国水郷百選にも選ばれた清川村。県の天然記念物であるモミの原生林やブナ林に育まれた清流が中津川や小鮎川の溪流をつくり、四季折々の美しい景観を楽しむことができます。

清らかな水、豊かな緑、溢れる人情。いつまでも暮らしたい、誰もが住み続けたい、夢と希望に満ちた村であり続けるために、皆さん心のふるさとであり続けるために、村だからできること、村にしかできないことに積極的に取り組み、一つ一つ歴史を積み重ねていきます。

昭和31年(1956年)9月30日、煤ヶ谷村と宮ヶ瀬村が合併して誕生した清川村は、首都50km圏内に位置する県内唯一の村です。

面積の89%が山林で占められており、村内全域が、丹沢大山国定公園と県立丹沢大山自然公園に指定されています。

魅力創出/



相模女子大学との連携

村では、今ある特産品を活用し、さらなる魅力を創出するため、地域おこし協力隊をはじめ、企業、大学等と連携し、官民一体となって地場産業の振興と活力ある村づくりを推進しています。

INFORMATION

所在地 〒243-0195

清川村煤ヶ谷2216番地

電話番号 046(288)1211

URL <https://www.town.kiyokawa.kanagawa.jp/>

面積 71.24km²

人口 3,076人

わが村グルメ



世界に認められた特産加工品

肉質がきめ細かく柔らかで、甘みのある脂が評判の特産品「清川恵水ポーク」を使用したソーセージを開発。2019年には、IFFAコンテストで金賞を受賞し、世界に認められました。

恵水ポークのあらびきソーセージ



村産食材を使った商品開発

研究や試行錯誤を重ね、村で採れた食材を活用した新商品の開発に取り組んでいます。すでに販売されている商品もあり、着実に成果を上げています。

都心から西に約50kmの距離に位置する丹沢・大山はハイキング、山小屋泊りの縦走など、初心者から上級者まで、1年を通じて多くの登山者が訪れます。村域には、丹沢山・塔ヶ岳の名峰がそびえ、宮ヶ瀬湖などを拠点に登山コースが整備されています。また、大自然の中では、カヌー教室や川遊び・釣り・バーベキューなど気軽にアウトドアライフを楽しむことができます。村内にはキャンプ場などが点在しており、家族や気の合う仲間とともに、自然を満喫し、充実した休日を送ることができます。



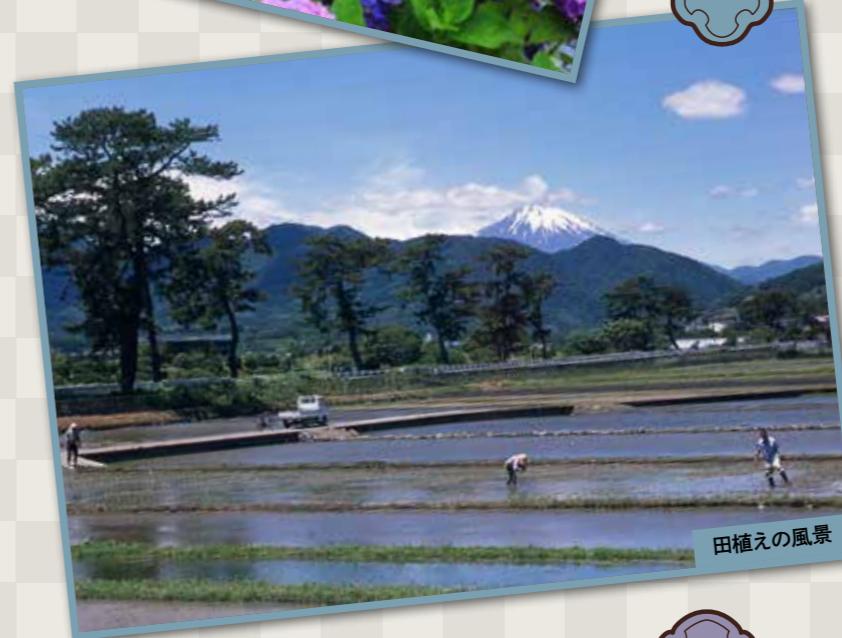
14町村写真館

PHOTO GALLERY

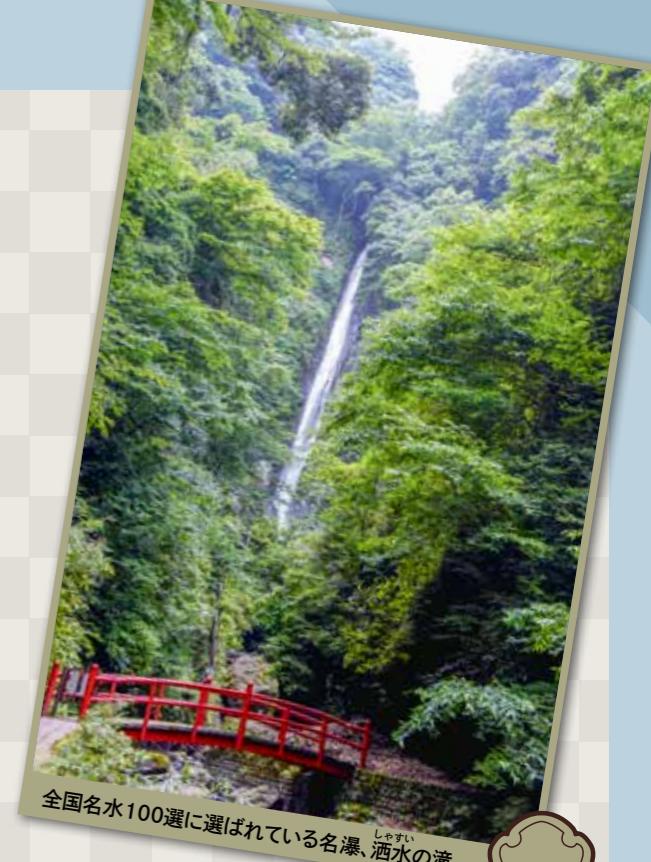




湯河原町



開成町



山北町



箱根町



14町村おいしいもの



合成保存料無添加の自然食品。
1年間熟成させることで、みそ本来
の味が際立ったまろやかな味わい。



徹底された衛生管理のもと、
丹沢山系のミネラル 豊富な
伏流水で育った豚は絶品。



酒粕を利用して作られたアイス。町内の酒蔵で
作られる日本酒が使われています。



生姜のピリとした刺激が特
徴のジェラート。



大津みかん100%、砂糖不
使用の無添加ジュース。



緑碧の滴。
農家のお母さん
手搾りジュース。



きび餅。大正14年創業、THE湯河原の味。



大井町

酒粕を利用して作られたアイス。町内の酒蔵で
作られる日本酒が使われています。



町内寄地区を流れる清流「中津川」で
育てられたさくら鱈を桜チップで燻した
オリジナルの燻製。



老舗の酒造で熟練の技術
により造られる丹沢水系の
伏流水を使用した日本酒。



愛川町

kuretamalaは、美味しい水と、酵母
やミネラルを含んだ飼料で育った
鶏が生む、栄養豊富な卵です。



創業190年を超える蔵元で醸
す残草蓬萊純米大吟醸は、綺
麗な吟味とキレの良さが特徴。



山北町



みかん。甘みと酸味のバランスがと
れた、冬に欠かせない果物です。



足柄茶。寒暖差が大きい山
間部の気候が、豊かな味と
香りのお茶を育みます。



箱根町

大涌谷特有の温泉成分でゆでた「黒たまご」
は、1個食べると7年寿命が延びるとか....。



寒川町

寒川のB級グルメ「さむかわ棒コロッケ」。具材を
春巻きの皮で巻いて揚げた棒状のコロッケ。



予約販売でしか手
に入らない幻の高
級メロン。甘い香り、
柔らかな肉質、上品
な甘さが特徴です。



大磯町

湘南ブランドのハウスみかん、
湘南の輝き。



希少な名産品、大玉柿。



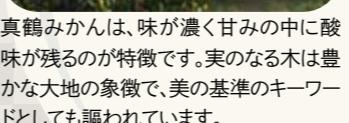
松田町



しらすピザ。湘南のしらす漁は
一艘曳で、透明なしらすが生
きたまま揚がるので、鮮度が非
常に高いことが特徴です。



真鶴町



お林の恵みを受けて育った海の
幸は、四季折々の豊富な魚種を
楽しめます。お刺身だけでなく、
干物や塩辛も絶品です。

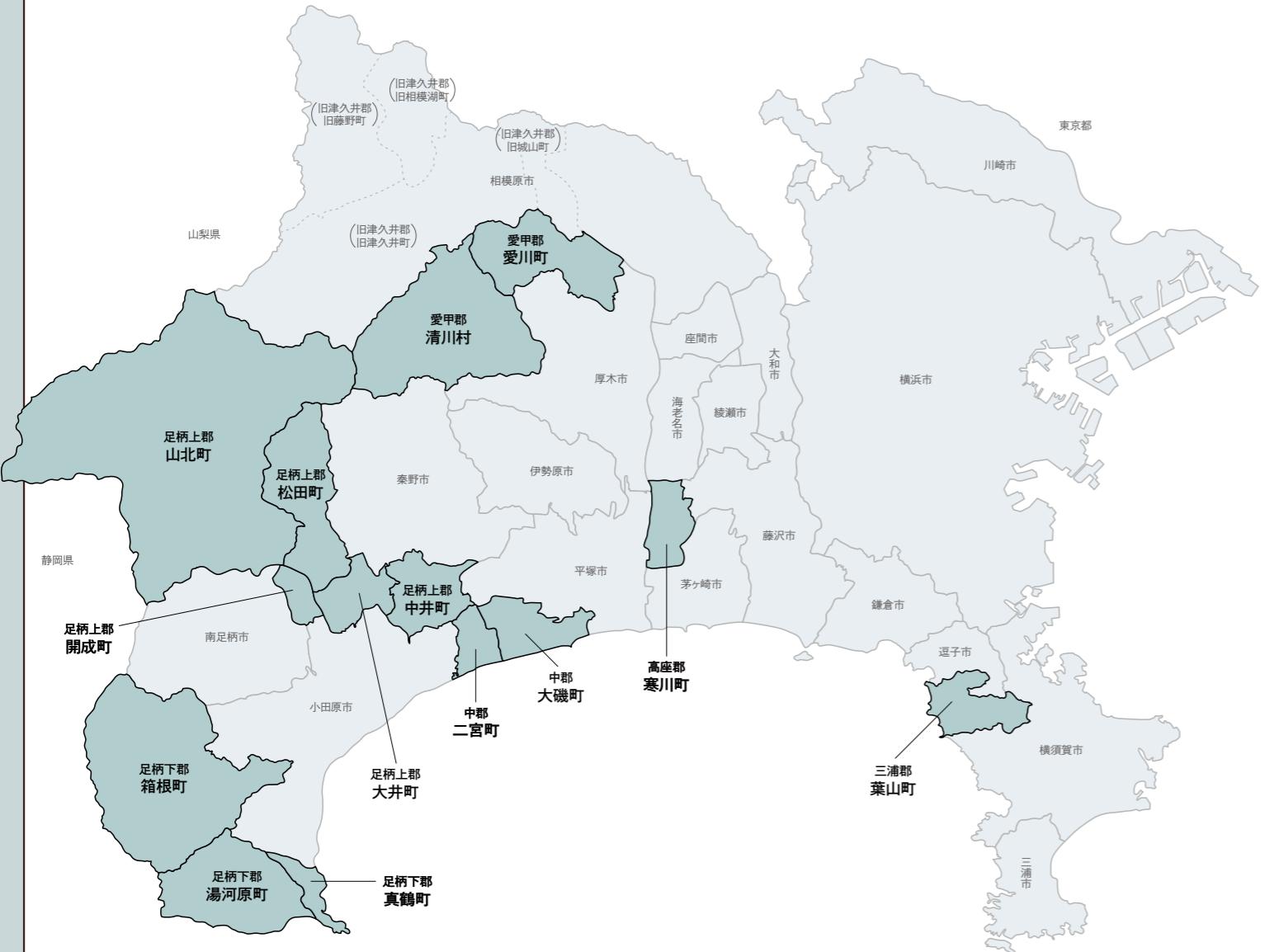


神奈川県 町村会とは

大正9年5月、初めての全国町村長会議が東京で開催され、「全国各町村の連絡を図る目的を以て府県を区域とする町村長会を組織し自治精神の普及徹底方法を攻究するとともに、地方自治の振興発展に資すべし」との協定案が満場一致で可決されました。これを受け、大正9年9月24日横浜開港記念会館で神奈川県町村会創立総会が開催され、23町175村で組織する「神奈川県町村長会」が誕生しました。

その後、昭和22年8月に「神奈川県町村会」に名称変更しました。構成町村数は昭和28年の町合併促進法施行により昭和32年10月には24町2村に、平成の合併では、旧津久井郡の4町(城山町・津久井町・相模湖町・藤野町)が平成18年3月と平成19年3月に相模原市と合併し、現在では、13町1村となっています。

神奈川県町村会は、県内町村の事務及び町村長の権限に属する事務の連絡調整や地方自治の振興発展に関する調査研究など、町村行政の円滑な運営を図ることを目的に活動するとともに、町村財産の損害をてん補する事業や町村職員の福利厚生に関する事業などを実施して現在に至っております。



構成町村：13町1村	
三浦郡	葉山町
高座郡	寒川町
中郡	大磯町／二宮町
足柄上郡	中井町／大井町／松田町／山北町／開成町
足柄下郡	箱根町／真鶴町／湯河原町
愛甲郡	愛川町／清川村

松本 一彦 真鶴町長	本山 博幸 松田町長	中崎 久雄 大磯町長
富田 幸宏 湯河原町長	湯川 裕司 山北町長	村田 邦子 二宮町長
小野澤 豊 愛川町長	府川 裕一 開成町長	杉山 祐一 中井町長
岩澤 吉美 清川村長	山口 昇士 箱根町長	小田 真一 大井町長
木村 俊雄 寒川町長		

令和2年10月1日現在

神奈川県町村会歴代会長名簿

代	氏名	町村名
初代	金子 角之助	藤沢町長
2	新田 信	茅ヶ崎町長
3	石渡 秀吉	浦賀町長
4	中田 寿一郎	小田原町長
5	加藤 小兵衛	浦賀町長
6	望月 珪治	海老名町長
7	石村 喜作	仙石原村長
8	添田 良信	茅ヶ崎町長
9	石村 幸作	湯本町長
10	小林 与次右衛門	相模原町長
11	松崎 定治	三崎町長
12	足立原 永助	厚木町長
13	飯山 藤三	金田村長
14	橋本 徳治	真鶴町長
15	竹内 新三郎	伊勢原町長
16	小磯 武二	城山町長
17	鹿野 文三郎	座間町長
18	田村 治平	大井町長
19	亀井 一郎	箱根町長
20	田中 富	葉山町長
21	露木 甚造	開成町長
22	柳川 賢二	二宮町長
23	勝俣 茂	箱根町長
24	相馬 晴義	愛川町長
25	瀬戸 洋二	大井町長
26	倉田 知昭	藤野町長
27	藤沢 賢一	寒川町長
28	北島 厚	城山町長
29	小野澤 茂明	相模湖町長
30	三木 邦之	真鶴町長
31	天野 望	津久井町長
32	守屋 大光	葉山町長
33	米岡 幸男	湯河原町長
34	島村 俊介	松田町長
35	間宮 恒行	大井町長
36	山口 昇士	箱根町長
37	尾上 信一	中井町長
38	大矢 明夫	清川村長
39	富田 幸宏	湯河原町長

14町村合併経過

現在の町村名	町村会創立当時の町村	合併の経過		
三浦郡 葉山町	三浦郡葉山村	葉山町(大正14.1.1)		
高座郡 寒川町	高座郡寒川村	寒川町(昭和15.11.1)		
中郡 大磯町	中郡大磯町	→	大磯町(昭和29.12.1)	
	中郡国府村	国府町(昭和27.4.1)		
二宮町	中郡吾妻村	二宮町(昭和10.11.3)		
足柄上郡 大井町	足柄上郡中井村	中井町(昭和33.12.1)		
	足利上郡上中村(板窪除く)	相和村(昭和21.11.3)	大井町(昭和31.4.1)	
	足柄上郡山田村			
	足柄上郡曾我村(上大井、西大井)	→		
	足柄上郡金田村	→		
松田町	足柄上郡松田町	松田町(昭和30.4.1)		
	足柄上郡寄村			
足柄上郡 山北町	足柄上郡川村	→	山北町(昭和8.4.1)	
	足柄上郡共和村	→	→	
	足柄上郡川西村	清水村(大正12.4.1)	清水村(大正14.2.1)	
	足柄上郡谷ヶ村			
	足柄上郡山市場村			
	足柄上郡神縄村 (日影、日向、ヲキツチ、 掘木沢及び小畠野原の一部)	→		
	足柄上郡神縄村 (田ノ八、尾崎、ヲソノ及び 小畠野原の一部)	→	三保村(大正14.2.1)	
	足柄上郡三保村	→		
	(足柄上郡北足柄村平山)	→	→	→
	(足柄上郡松田町寄(高松))	→	→	→
開成町	足柄上郡酒田村	開成町(昭和30.2.1)		
	足柄上郡吉田島村			
足柄下郡 箱根町	足柄下郡箱根町	箱根町(昭和29.1.1)	箱根町(昭和31.9.30)	
	足柄下郡元箱根村			
	足柄下郡芦ノ湯村			
	足柄下郡湯本村	湯本町(昭和2.10.1)		
	足柄下郡温泉村	→		
	足柄下郡宮城野村	→		
	足柄下郡仙石原村	→		
真鶴町	足柄下郡真鶴村	真鶴町(昭和2.10.1)	真鶴町(昭和31.9.30)	
	足柄下郡岩村	→		
湯河原町	足柄下郡土肥村	湯河原町(大正15.7.1)	湯河原町(昭和30.4.1)	
	足柄下郡福浦村	→		
	足柄下郡吉浜村	吉浜町(昭和15.4.1)		
愛甲郡 愛川町	愛甲郡愛川村	愛川町(昭和15.4.1)	愛川町(昭和31.9.30)	
	愛甲郡高峰村	→		
	愛甲郡中津村	→	→	
清川村	愛甲郡煤ヶ谷村	清川村(昭和31.9.30)		
	愛甲郡宮ヶ瀬村			

後書きに代えて

神奈川県町村会が創立された大正9年は、スペインかぜと呼ばれたインフルエンザが世界的に猛威を振るっていました。

それから100年が経過した今、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、各国は検査、治療、移動制限、大規模イベントの中止などにより感染拡大を必死で押さえようとしています。

わが国でも、多くの方がこの感染症に感染し、残念ながら多くの方が亡くなられました。

また、今年、開催が予定されていました東京2020オリンピック・パラリンピックも延期になるなどこの感染症が社会・経済に与えた影響は極めて大きなものになりました。

現在、先が見通せない中で、国、県、市町村が一丸となって感染拡大防止に全力で取り組んでいます。

この記念誌はそうした状況の中で、神奈川県内の14町村が力を合わせて編集し、発行したものです。

令和2年10月

神奈川県町村会創立100周年記念 魅力あふれる神奈川県の14町村

発行日 令和2年10月1日

編集・発行 神奈川県町村会 TEL:045-664-7454

制作 公益社団法人かながわデザイン機構

デザイン 松平 小百合

本誌に記載している記事・写真・イラストの無断転載はご遠慮ください。
本誌に掲載した内容は、各町村から情報提供いただき作成し、令和2年10月時点のものになります。新型コロナウイルス感染症の影響により掲載イベント等が中止・延期等になっている場合がありますので、ご注意ください。
本誌に関するお問い合わせは、神奈川県町村会までお願ひいたします。
本誌に掲載された内容により生じたトラブルや損害などに関しては、本会では補償しかねますので、あらかじめご了承ください。



〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町75番地 神奈川自治会館4階

電話：045-664-7454 FAX：045-664-7610

ホームページ：<http://www.c2-kanagawa.jp/>

メール：office@c-kanagawa.jp